

## 第3章 京田辺市産業のビジョン

### 1 全体ビジョン

事業者と市民がともに手を取り、快適な事業環境と豊かな生活を創造するまち

京田辺市の産業振興に向けては、農業、商業、工業、観光といった分野の垣根を超えて、事業者や市民が京田辺市の魅力を知り、協力し合いながら、よりよい事業の推進や豊かな生活の実現につなげていくことが重要です。そこで、京田辺市産業の目指すべき姿を、「事業者と市民がともに手を取り、快適な事業環境と豊かな生活を創造するまち」とし、このビジョンを、京田辺市の市民、事業者、行政が産業振興に向けた目標として共有し、互いに協働・連携しながら実現に向けた取組を進めていきます。

## 2 分野別ビジョン

「事業者と市民がともに手を取り、快適な事業環境と豊かな生活を創造するまち」を全体のビジョンとして、農業、商業、工業、観光それぞれの分野別にビジョンを定め、各分野の取組の相乗効果を高めながら全体ビジョンの実現を目指します。

### (1) 農業

農業者が生き生きと働ける魅力あふれる農業・農村を創造し、消費者に安全安心な京田辺市産農産物を提供するまち

農業者が持続的に農業に取り組める事業環境を創出するとともに、魅力的な景観と環境が保たれた農村を創造することにより、消費者に向けて安全安心な農産物を提供するまちを目指します。

### (2) 商業

商業者が個性を生かした魅力ある店舗づくりを行い、市内外の人々が集う、にぎわいと活力に満ちた、快適でくらしやすいまち

商業者がそれぞれの個性を高めて魅力ある店舗づくりを行い、その魅力に惹かれて市内外の人々が集うことで、まちに活気が満ちるとともに、生活に必要な品物が供給され、便利で暮らしやすいまちを目指します。

### (3) 工業

多様な企業が強みを磨き、快適に事業活動を行い、地域と共に持続的に発展していくまち

市内に立地する多様な企業がそれぞれに強みを磨くとともに、それを可能にする快適な事業環境を整え、事業者の発展と地域の発展が両立するまちを目指します。

### (4) 観光

市民が郷土愛ととんち（アイデア）をもって安らぎと潤いのある観光地づくりを行い、市民と観光客が「ひとやすみ」できるまち

市民が京田辺市に対する深い理解と愛情を持ち、様々なアイデアを出し合って、魅力的な観光地をつくり、市民にも観光客にも癒やしと安らぎを提供するまちを目指します。

### 3 分野別基本方針

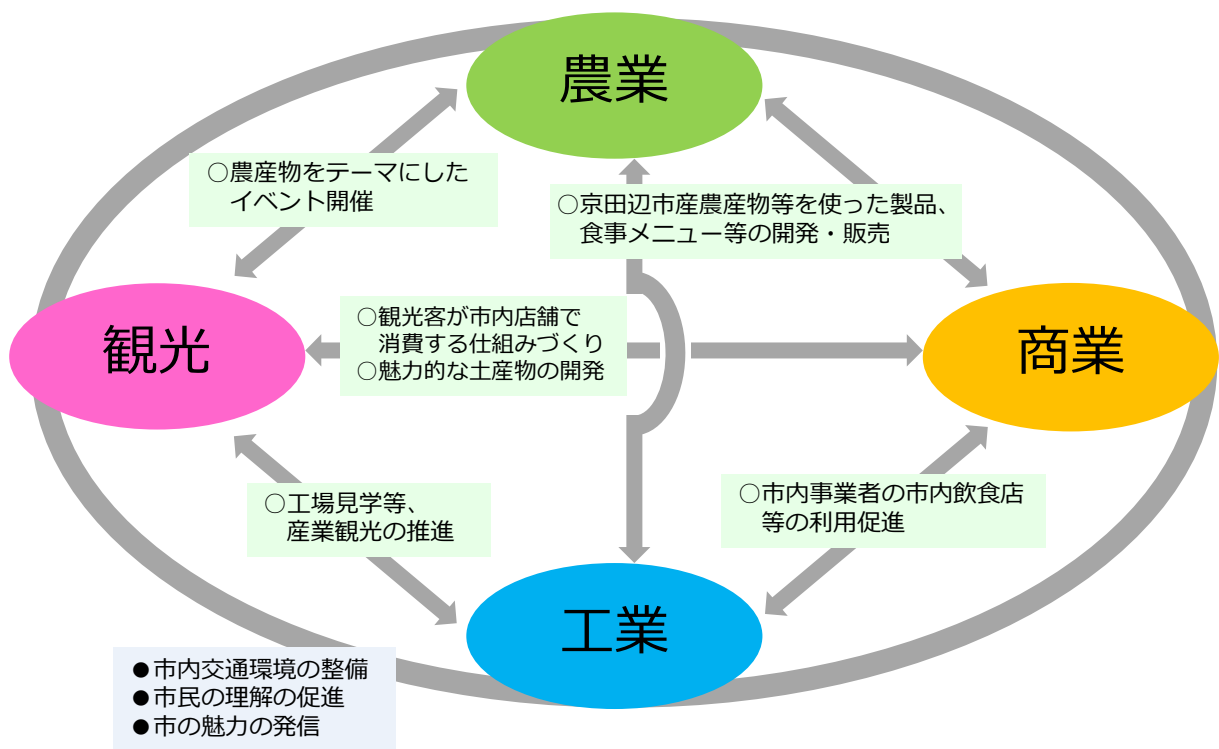
農業、商業、工業、観光のそれぞれの分野に4つずつ基本方針を定め、それらの方針に基づいて体系的に取り組を進め、分野別のビジョンの実現を目指します。



## 4 分野間の連携

4つの分野はそれぞれに関連し合いながら京田辺市の経済を支えています。このことを踏まえ、分野間で相互に関係するテーマについて、連携しながら積極的に取り組んでいくものとします。また、交通環境の整備や市民の理解の促進、市の魅力の発信といった、各分野に共通し、各分野とも深く関わるテーマについても積極的に取り組んでいきます。

### ■分野間の連携イメージ

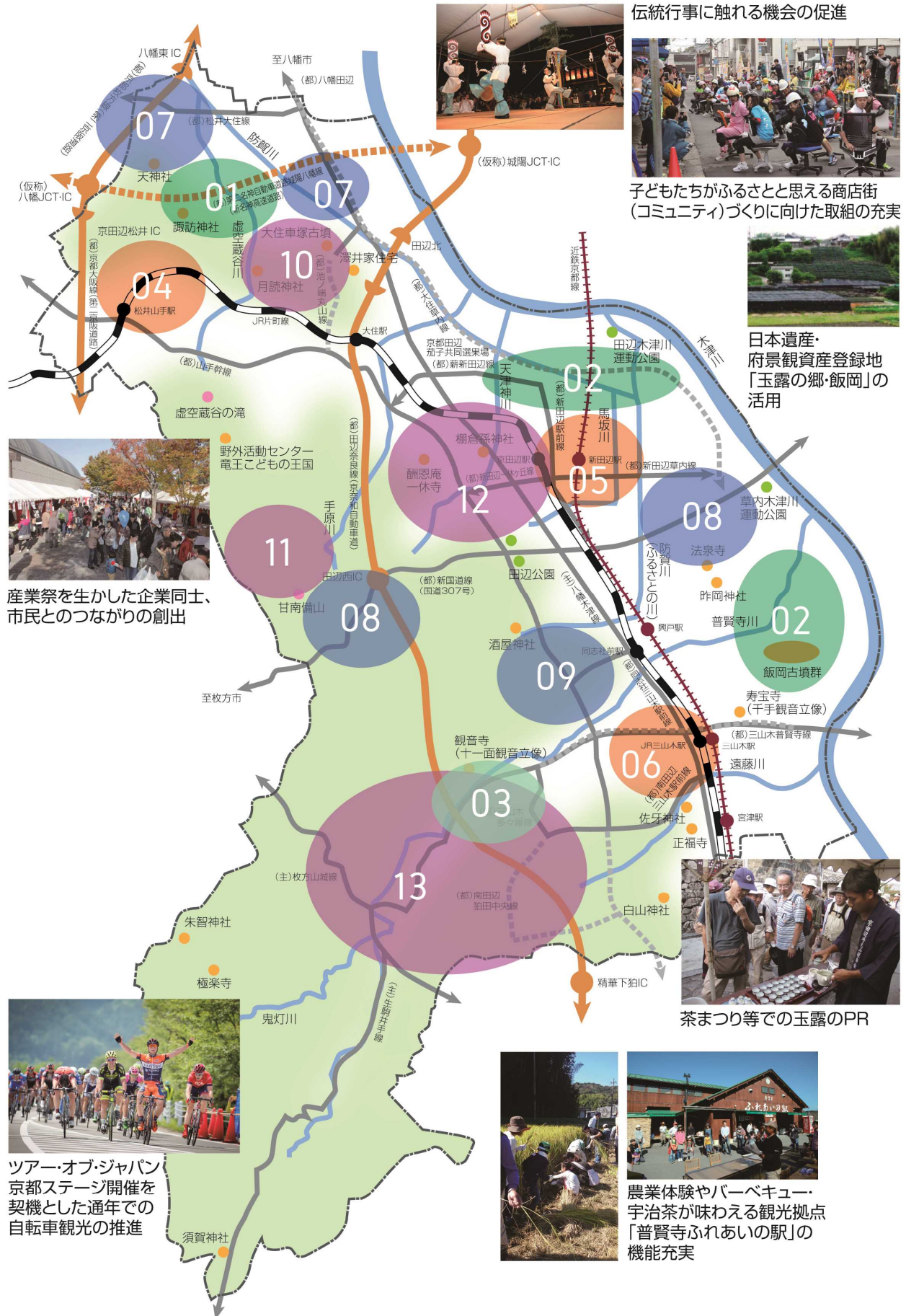


## 5 ビジョンを通じて実現を目指すまちの姿

ビジョンを通じて、以下のような姿を実現することを目指します。

 <p><b>農業</b></p>	<p>01 北部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ほ場整備が進んでいる地域で、平野部のまとまった農地を生かし、米やナス等の生産が盛んに行われる。</li> <li>●ハウスを利用した施設栽培の野菜が生産される。</li> </ul>
	<p>02 中部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●平野部のまとまった農地を生かし、米、ナス、えびいも等の生産が盛んに行われる。</li> <li>●木津川河川敷や普賢寺川流域、飯岡の丘陵地を中心に覆下茶園が広がり、良質な玉露、碾茶の栽培が行われる。</li> <li>●日本遺産、京都府景観資産登録地に指定された「玉露の郷・飯岡」では玉露の産地特有の景観が広がる。</li> </ul>
	<p>03 南部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●普賢寺ふれあいの駅では、新鮮野菜の買い物のほか、宇治茶を使ったカフェ、バーベキュー、農業体験（稲刈り・味噌づくり等）などを楽しむことができる拠点として市内外から人が訪れ滞在する。</li> </ul>
 <p><b>商業</b></p>	<p>04 北部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●八幡市に続く山手幹線沿いには、JR松井山手駅を中心に整ったまち並みが形成され、個性ある小売店・飲食店が集積し、市内外から顧客が集まる。</li> </ul>
	<p>05 中部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●JR京田辺駅周辺は大型店を核施設にオフィスビル・店舗が立地、近鉄新田辺駅西側は多くの飲食店が集積、鉄道乗り換え客、学生が集い、夜までにぎわいをみせる。</li> <li>●近鉄新田辺駅東側はキララ商店街が中心となり、「子育て世帯や高齢者が楽しく安心して買い物ができる商店街」を目指し、市民や学生と連携し、空き店舗活用やにぎわいイベントなどを行う。</li> </ul>
	<p>06 南部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●土地区画整理事業により、近鉄・JR三山木の2駅を核にゆったりとした駅前広場が広がり、周辺にはスーパーマーケット、利便施設が立地、新たな商業エリアとして成長する。</li> <li>●同志社大学などの学生を含めた様々な年代の人が集い、にぎわいを創出する商業・業務施設が充実し、人口増加が進む同志社山手地区からの利用も進み、京田辺市全体の活性化の原動力となる。</li> </ul>
 <p><b>工業</b></p>	<p>07 北部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●新名神・第二京阪道路の交通利便性を生かした新たな工業地域として充実し、新たな工業・流通業務地が形成される。</li> </ul>
	<p>08 中部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●広域幹線道路等の交通利便性を生かし、生産性の高い工場、流通施設が集積し、事業活動の活発化、市内消費の拡大が進む。</li> </ul>
	<p>09 南部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●D-egg（同志社大学連携型起業家育成施設）を拠点にベンチャー企業が大学の研究成果を活用し、活発に研究開発を行い、新しい製品、技術が生み出される。</li> </ul>
 <p><b>観光</b></p>	<p>10 北部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●澤井家住宅、野外活動センター（竜王こどもの王国）、伝統行事「大住隼人舞」等の資源を生かし、昔ながらの家並みと自然が続き、歴史とのどかな風情を味わえるエリアとして、市内外から人が訪れる。</li> </ul>
	<p>11 中部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●甘南備山では散策ルートや展望台、休憩所、トイレなどの施設が充実し、四季折々の変化を楽しめるスポットとして、ハイカーを中心に市内外から人が訪れる。</li> </ul>
	<p>12 中部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●一休寺が京田辺市のシンボルとして他の観光資源と連携し、イベントや体験観光など新たな取組を展開し、市外の観光客をひきつける。</li> <li>●観光協会の機能強化・アンテナショップの設置により、京田辺市の観光の玄関口となる。</li> </ul>
	<p>13 南部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●新たな観光資源であるツアー・オブ・ジャパンのコースを最大限に活用し、自転車愛好家など、市内外から観光客が集まる。</li> <li>●普賢寺地域の菜の花畑や里山の美しい風景や大御堂観音寺、二月堂竹送りなどの歴史・伝統に触れる観光事業により市内外から観光客をひきつける。</li> </ul>





伝統行事に触れる機会の促進



子どもたちがふるさとと考える商店街 (コミュニティ) づくりに向けた取組の充実



日本遺産・府景観資産登録地「玉露の郷・飯岡」の活用



産業祭を生かした企業同士、市民とのつながりの創出



茶まつり等での玉露のPR



ツアー・オブ・ジャパン 京都ステージ開催を契機とした通年での自転車観光の推進



農業体験やバーベキュー・宇治茶が味わえる観光拠点「普賢寺ふれあいの駅」の機能充実